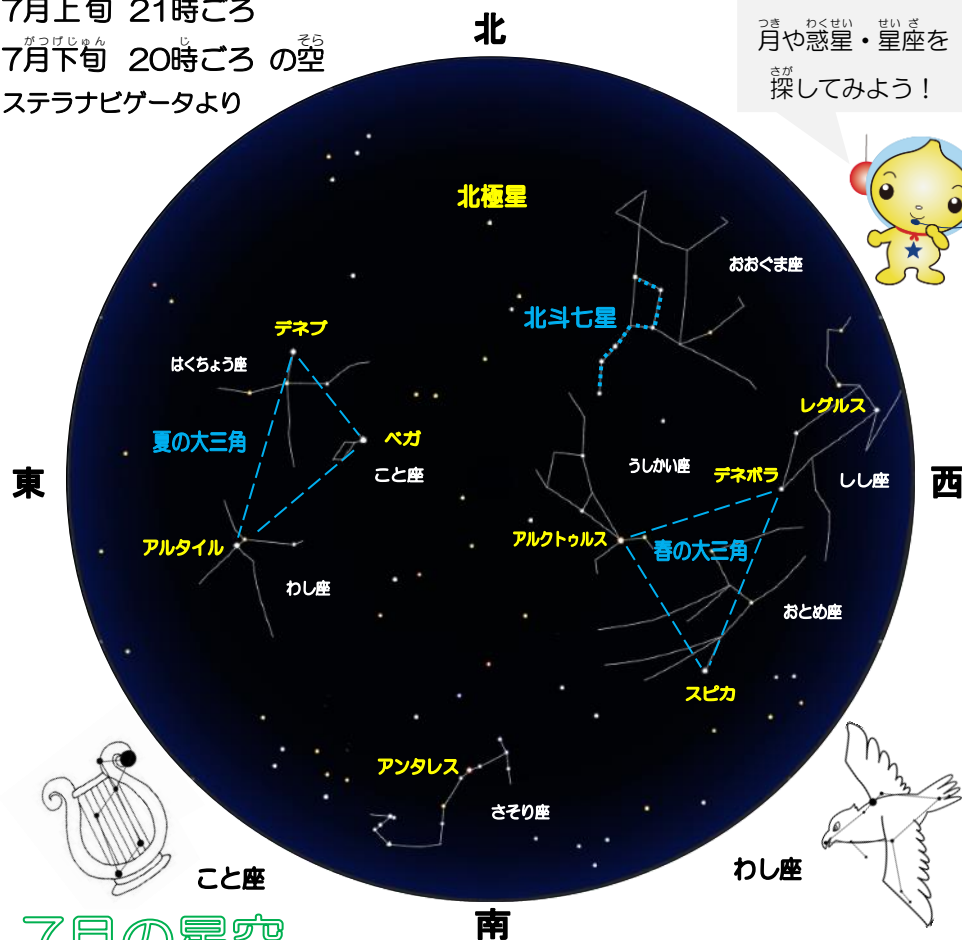


月刊★星空の散歩道 2021年 7月号

7月上旬 21時ごろ
7月下旬 20時ごろ の空
ステラナビゲータより

つき わくせい せいざ
月や惑星・星座を
さが 探してみよう！



7月の星空

★宵空の主な星座と明るい星★

西の空に春の星座が見え、南の空と東の空に夏の星座が見えています。

- < 西 > しし座 (レグルス、デネボラ)、おとめ座 (スピカ)
- < 天頂 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 南 > さそり座 (アンタレス)
- < 東 > こと座 (ベガ)、はくちょう座 (デネブ)、わし座 (アルタイル)
- < 北 > 北極星、おおいぬ座

★天文トピック★

7月7日 七夕

おりひめ星はこと座の「ベガ」、ひこ星はわし座の「アルタイル」。夏の空で見つけてみてください。

7月7日 小暑

二十四節季のひとつ。本格的な暑さが始まるころ。

7月12日 月・金星・火星が近づく

夕空に、細い月、金星、火星がとて近づく見えま
す。火星は少し暗いので、双眼鏡を使うと見つけやす
いかもしれません。

7月22日 大暑

二十四節季のひとつ。最も暑いころという意味です
が、実際の暑さのピークはもう少し後になります。

7月24～26日 月と惑星がならぶ

月が、24日には土星、26日には木星に近づきます。

★月の形の変化★

7月 2日	下弦	
7月 10日	新月	
7月 17日	上弦	
7月 24日	満月	
7月 31日	下弦	

★7月の惑星★

水星…明け方、東の空低く(上旬)

金星…夕方、西の空低く

火星…夕方、西の空低く(下旬)

木星…夜遅く、南東の空

土星…夜遅く、南東の空

<天文コラム> 注目される「金星」

今年の金星は年末まで西の宵空で探せますが、高さが20度程度と高くないので、見つけるには少し注意が必要かもしれません。さて、この金星はどのような星なのでしょう？

金星は、私たちの地球と同じく太陽の周りを回る惑星で、地球のすぐ内側を回っています。直径は地球の約0.95倍、質量は約0.82倍と地球とよく似ています。地球と同じように岩石や金属でできた固い地表を持つことから「地球型惑星」に分類されています。

しかし、金星の様子は地球とはずいぶん違ってきます。金星は公転周期224日に対して、自転周期は243日で公転と逆向きであるため、金星では約117日の周期で西の空から太陽が昇り、東の空へ沈んでいきます。この遅い自転に対して金星の大気の上層部では「スーパーローテーション」と呼ばれる4日間で金星を1周する猛烈な風が吹いています。この金星の大気のメカニズムについては、現在も金星を観測している日本の金星探査機「あかつき」によって詳しく解明されてきています。

また、金星の地表の温度はとても高く、約460度にもなります。これは主に二酸化炭素を主成分とする分厚い大気が金星を取りまき、温室効果によって太陽から受ける熱を逃がしにくくしてしまうからです。地球でも二酸化炭素の増加による「温暖化」が大きな問題となっています。NASA (アメリカ航空宇宙局) と ESA (欧州宇宙機関) は、なぜ金星がこのような環境になったのか、大気や地質を調査するために、2028～30年代に相次いで探査機を送り込む計画を発表しました。金星を知ることで、地球の未来に役立つ情報が得られるのではないかと注目されているのです。

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2021年6月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

